

ご使用前には必ず
全ての説明をよく読んでから
取り付け・ご使用ください。

ご注意

- 戸の合わせりすき間(屋外側の窓と室内側の窓の合わせりすき間)が5mm以下の場合にはご使用できません。
- 取り付け場所に障害となる突起物等が無いかが、ご確認ください。●ホチキスはケガをしないように工具等を使い、取り外してください。

合わせりすき間(5mm以上)



特長

- 換気ロック状態から完全ロックへは窓を開めるだけで、オートロック。
- 強度のあるエンジニアリングプラスチック採用!見た目以上の丈夫さで、窓のつかえ棒として、充分な強度を備えています。
- ロック部を外さないで、置き場所不要です。



写真のように、レールと本体の貼る場所を決め、位置合わせをします。



レールがサッシと引き違えることが可能を確認します。



キャップ等の邪魔な突起物(外して問題の無い物)を外します。



取り付け面の掃除を十分に行います。湿気、油汚れが残ると粘着強度が得られません。



まず本体を取り付けます。ツメを裏返しサッシ面から8~10mmあげ(下図参照)サッシと平行になるように貼り付けます。



窓を完全に閉め、クレセント金具も掛け、レールを貼り付け、ツメを屋外側に倒します。
※マーク側からレールをツメの下へ滑り込ませ、下図のように最初の段から2~3mm程度すき間をあけ、貼り付けます。



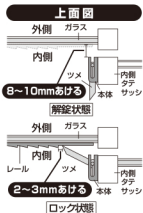
レールは必ずツメの位置に合わせ、サッシと平行に貼り付けてください。写真は、「ロック状態」です。



解錠状態です。



換気状態です。



使用上の注意

- 押出し窓から室外に出るときは必ず解錠状態であることを確認してください。締め出しとなる場合があります。●外出されるときは、必ず完全ロック位置に錠本体をセットし、施錠確認の上、外出してください。
- サッシの形状により取り付け不可の場合がございます。●貼り付け時はよく指で加圧し、24時間程度そのまま置き、その後ご使用を開始ください。●レールとツメに指を挟まないよう、十分注意してください。●中核のご使用はお避けください。やむを得ずご使用の場合はサッシのたわみにより、緩衝する場合があります。ご了承の上、ご使用をお願いします。
- 貼り直しをすると、テープは本来の接着力を発揮できません。●接着後の取りはずしは、市販のシールはがし液を使用し、時間をかけて行ってください。サッシの選色・変色・傷等の責任は負いかねます。●本品は防犯向上を意図した商品ですが、防犯はお客様のご注意、ご配慮に代わるものはございません。万一の事故、犯罪、トラブル等が発生したとしても当社は一切の補償、弁償等はいりません。●ご理解いただきますようお願いいたします。●本製品は改良等の目的からパッケージ仕様等予告なく変更する場合があります。



カチカチロック
DS-KC-1



株式会社 日本ロックサービス

東京都豊島区東池袋 3-23-14 <https://www.lock.co.jp/>

PAT.P

付属品 錠本体・レール

材質 錠本体…POM樹脂(ツメ)
ABS樹脂(本体)
レール…ABS樹脂